

会 議 録		令和 5 年12月12日作成	令和 9 年 3 月末日廃棄
会議名	京都府山科警察署協議会（令和 5 年度第 3 回）		
開催日	令和 5 年12月 4 日（月曜日）		
時 間	午後 3 時から午後 4 時40分までの間（ 100分）		
場 所	京都府山科警察署 署長室		
出席者	古川会長、山下（明）副会長、西村委員、一原委員、角田委員、有本委員、山下（恒）委員、樋口委員、三谷委員 （欠席 西川副会長、川中委員、浦野委員、井内委員） 計 9 人		
	署長、副署長、警務課長、警備課長、広聴・相談係長、警備課員 5 名、管区機動隊員 5 名 計15人		
諮 問 事 項	警護警備について		
会 議 内 容	1 会長挨拶	司会	副署長
	2 署長挨拶		
	3 協議	司会	会長
	(1) 諮問事項説明 警護警備について～警備課長		
	(2) 見学・説明 警護用車両～警備課員・管区機動隊員		
	【委員】警察庁長官が警護対象者を指定することのだが、対象者は増えているのか。		
	【警察】総理大臣始め三権の長、各閣僚などのほか、具体的な対象者数の増減については承知していないが、その都度、情勢に応じて指定されているものと思われる。		
	【委員】京都府内で、警護対象者が暴漢に襲撃されたことはあったのか。		
	【警察】記憶にない。		
	【委員】しっかり警護してもらい、未然に防いでいるということですね。		
	【警察】その時の情勢に応じて、重層的かつ全方位的な警護を実施しており、警戒の空白を生じさせないようにしている。		

会 議
内 容

【委員】奈良県で安倍元総理が銃撃された時は、周囲360度がガラ空きだったとのことであるが、後ろに建物などがあり、前だけが聴衆の方を向いているほうが警護しやすいのか。

【警察】安倍元総理銃撃事件について述べる立場にはないが、背後に建物があっても高所からの襲撃を勘案して警戒に当たっている。

【委員】街頭演説などの現場に多くのカメラを設置して、A Iに判断してもらえばいいのではないか。

安倍元総理を銃撃した者も、現場をウロウロしていたとのことなので、A Iに暴漢の行動パターンを学習させて、暴漢を選別出来るようにすればいいと思う。

爆弾や拳銃の作り方をインターネットで検索するような人物を普段から把握するようにしておき、現場ではA Iで暴漢を特定するというのも1つの方法だと思う。

【警察】警護の基本は、犯行を未然に阻止することにある。

要するに、隙を見せないことにあるので、A Iを活用しているとアピールすることでも、犯行が難しいと思わせることになる。

閉鎖された空間での演説などでは、入口で金属探知機のチェックをすることで犯行を抑止することになり、実際、安倍元総理銃撃者も、別の場所での犯行を諦めたと言っている。

【委員】警護をするなかで、一般人にこんな行動をされたら嫌だなと思うことは何か。

【警察】具体的な場面について申し上げることは、今後の警備活動に支障を及ぼすおそれがあることから回答は差し控えるが、警護現場に応じて必要な体制をとって、万全警護に努めている。

【委員】日本は銃を規制しているが、銃を規制していないアメリカなどではビルの上からの狙撃が多いのではないか。

【警察】アメリカのことは、承知しておらずお答えしがたい。

ただテレビ等で観る限り、現在は屋内での集会が多いようにも思われる。

【委員】心配すればきりがなが、猟友会の方は猟銃を持っており、それを盗まれて使われたらどうしようと思う。

【警察】猟銃は銃身を短くすれば、コートの中などに隠し持つことが出来るが、そのようなことも想定し、銃身の長さは決まっており、短くすると所持の許可がおりない。

改造していないことを確認するため、警察では年に1度銃検査というものを実施している。

【警察】現在は爆弾等の作り方も簡単にネットなどで調べることができ、爆

発物の原材料も安易に入手することができる。

薬局や学校で取り扱う薬品や化学肥料の中にも爆発物の原材料になりえるものがあり、取扱者への対策を推進している。

【委員】警護の現場では、警察官が一般人と同じような格好をして警護をすることもあるのか。

【警察】主な服装はスーツや制服であるが、状況等に応じて現場に即した服装で従事することも考えられる。

【委員】皇室関係の警護は、皇宮警察がするのではないのか。

【警察】詳細は差し控えるが、皇宮護衛官と都道府県警察が連携して対応している。

会 議
内 容

【委員】安倍元総理や岸田総理に対する襲撃事件では、単独犯の犯行が続いているが、SNSを通して単独犯が連携していけば、防ぎようもなくなる気がして恐ろしい。

【委員】選挙の時に襲撃される可能性が高いと思うので、選挙の回数を減らすように、政治家に努力してもらいたい。

【委員】これまで選挙の街頭演説を怖いと思ったことはなかったが、最近では街頭演説に聞きに行くのも怖いと思うようになった。

【委員】警護対象者の命も大切だが、警察官の命も私たち市民には大切なので、自分の身も守りながら職務にあたっていただきたい。

4 事務連絡

令和5年度第4回山科警察署協議会の開催日程は、令和6年2月下旬に実施予定とする。

以上

第3回京都府山科警察署協議会の開催状況

